



宿泊学習に行ってきた！

17日(木)、18日(金)、小4,5年生は宿泊学習に行ってきました。今号では、子供たちが体験し、挑戦したことを特集します。



アジ釣りに挑戦しました。たくさん釣れたね。



太郎礫(たろうつぶて)・次郎礫(じろうつぶて)を見学。大海原も迫力があつたね。



夜は花火。キレイだったね。



レンジでチンするカレーとごはんに挑戦。
そうっと持ったけど、熱かったね。



レンジに入れてスイッチオン。



熱々カレーに挑戦しました。



枕カバーをたたもう！



今度は家でもやってみよう！



みんなで朝ご飯を食べました。



自分たちでやってみよう！



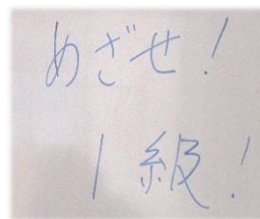
枕カバーの端をそろえよう！



ごみは袋に入れて

高等部・キャリア検定に向けて

— 令和8年9月24日(木)



特別支援学校高等部では、長崎県教育委員会の主催で「長崎県特別支援学校キャリア検定」という取組が行われております。この検定は、全部で3部門（事務アシスタント、アノテーション（パソコン）、清掃）について開催されていますが、今回、壱岐地区で実施されるのは、清掃部門の「テーブル拭き」と「自在ぼうき」の2種目で、壱岐分校の生徒たちは現在、当日に向けて練習を頑張っています。（9月30日（水）開催）。

種目「テーブル拭き」



「テーブル拭き」は、規定の時間内に、コート内に設置されたテーブルを水拭き及び空拭きで仕上げ、その準備・片付けまでの一連の動作について評価を行います。これまで生徒たちは、中学部までの給食準備等で「机を拭く」という作業を日常的に行ってきていますが、一連の手順を覚え、「どうしてタオルを使い分けるか」など、一つ一つの手順の意味を考え、丁寧に練習に取り組んでいます。



種目「自在ぼうき」



「自在ぼうき」についても、規定の時間内に作業を完了させることが求められ、ごみに見立てたおがくずの掃き残しがないよう、確認を重ねながら練習に励んでいます。幅木（コートに設置された木の枠）は室内の壁を意味し、壁にほうきをコツコツと当てないことも、作業の丁寧さを向上させる上で、生徒たちがお互いに声を掛け合って、大事にしているところです。



いずれの種目においても、「検定を通じて級位の認定を目指す」ことはもちろんですが、これらの作業を通して「なぜ、そのようにするのか」を考え、普段の生活の中で日常的に取り組めるようになることが、卒業後の進路実現に向けてとても重要になってきます。